

立川紙業と渋沢栄一その①

昨年のNHK大河ドラマ『青天を衝け』の主人公・渋沢栄一は、生涯に500の企業、600の社会事業に携わりましたが、その舞台やエピソードが、東京にも数多く残されています。

その一つが北区王子の飛鳥山です。洋紙の国産化が必要だと考えた渋沢は、1873年(明治6)、抄紙会社(後に王子製紙に社名変更)を設立、1875年(明治8)に王子に工場を創業しました。この地を選んだのは、製紙の工程で欠かせない大量のきれいな水を得られる千川用水が近くの滝野川まで水路を延ばしていたこと、墨田川や荒川といった大型河川に通じる水運が整っており、機械などを運ぶ際の利便がよかつたこと。そして当時、洋紙の原材料であったボロ(破布)が入手しやすく、洋紙の一大消費地である都心に近接していたからだと伝えられています。

戦後、王子製紙は3社(苦小牧製紙、本州製紙、十條製紙)に分割され、苦小牧製紙は現在の王子HDに、十條製紙は現在の日本製紙となりました。その国産抄紙発祥の地である王子の飛鳥山には、以前この特別訪問記でも紹介した『紙の博物館』があります。この博物館については、またの機会に詳しく再掲の予定です。



紙の博物館(公式HPより)



滝乃川学園(公式HPより)

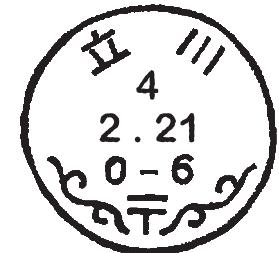
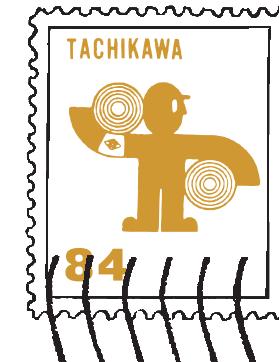


外観の様子

さて、立川紙業から一番近い「渋沢栄一ゆかりの地」といえば、なんといっても国立市谷保にある『社会福祉法人 滝乃川学園』ではないでしょうか。この施設は、わが国で初めてつくられた知的障がい児のための教育施設で、当初、紙の博物館近くの北区滝乃川に設立されました。幾度かの移転の後、1928年(昭和3)から現在地にあります。名称は、発祥の地名に由来しているそうです。

創始者の石井亮一は1891年(明治24)の濃尾大地震後、16人の少女孤児を保護。その中の2人に知能発達の遅れがあることに気づき、知的障害について学ぶため、2度にわたって渡米。帰国後、同じ境遇にある子どもたちへの教育と福祉を目的に、この園をスタートさせました。

大正期に、まだ火の怖さを理解できない子どもの失火から多数の犠牲者を出し、一時閉園の危機に陥りますが、当時、一切の公職を辞していた渋沢が「石井夫妻の教育理念の実現のためなら」と新たな理事長に就き、以降没するまでの間、園の再興と運営に尽力したことが伝えられています。



ミューマット
46判 70kg
を使用しています。



発行／株式会社 立川紙業 〒190-0022 立川市錦町4-5-26 / TEL : 042-527-6111(代)
FAX : 042-528-0080 / HP : www.kami.jp / MAIL : tp@kami.jp



能戸 奨意

花粉症とは、I型アレルギーに分類される疾患の一つ。植物の花粉が鼻や目などの粘膜に接触することによって引き起こされ、くしゃみ、鼻水、鼻詰まり、目のかゆみなどの症状が現れる。別名、枯草熱ともいわれ、日本では北海道の大半と沖縄を除いてスギ花粉が抗原となる場合が多い。

くしゃみ、鼻水、鼻詰まりなどはアレルギ性鼻炎の症状であり、花粉の飛散期に一致して症状が起こるため、季節性アレルギ性鼻炎に分類され、その代表的なものとなっている。目のかゆみや流涙などはアレルギ性結膜炎の症状であり、鼻炎同様、季節性アレルギ性結膜炎に分類される。

広義には花粉によるアレルギー症状すべてを指すこともあるが、一般的には前述のように、鼻および目症状を主訴とするものを指す。また、狭義には鼻症状のみを指し、目症状は結膜花粉症、皮膚症状は花粉症皮膚炎、または花粉皮膚炎、喘息の症状は花粉喘息、喉の

不快感などの症状はアレルギ性咽喉頭炎などと別に呼ぶことがある。

人により、くしゃみや鼻水がひどいタイプと、鼻詰まりがひどいタイプ、どちらもひどいタイプなどに分けられる。症状の程度も個人により異なる。そうした症状のタイプと重症度により、適した治療、薬剤なども異なってくる。目の症状の重症度などによっても治療法は異なる。

喘息発作については、咳が多く出たり呼吸機能の低下がみられ、重症例では呼吸困難になることもある。そうなった場合はすみやかに救急医療機関を受診するか、救急車を呼ぶべきである。

僕はかなり重度の花粉症なので、鼻水、鼻詰まり、くしゃみ、咳、すべてにおいてひどい状態になる。そのため、症状が出る前に病院で薬をもらって対応している。2022年春の花粉飛散予測によると関東甲信は例年並みとのことだが、今から心配である。

(配送1課員)

業界の動き

値上げの動き、家庭紙・衛生用紙にも

あらゆる素材産業に端を発する昨今の値上げの波は、「こんなものまで…」と、驚きや悲鳴に近い声さえ聞こえてくる。紙業界においても、印刷用紙や情報用紙だけにとどまらず、家庭紙や衛生用紙など、スーパーや小売店の店頭で消費者が直接目にする価格にも、その流れは波及しつつある。

「クリネックス」「スコッティ」ブランドを展開する日本製紙クレシア(株)、「エリエール」ブランドでお馴染みの大王製

紙(株)など家庭紙各メーカーは、原燃料価格の高騰、物流費・人件費の上昇、また環境対策費などの負担増を理由に、それぞれ10~20%の値上げを発表。台所事情は中小メーカーも変わらず、この動きに追随している。

さらに、長引くコロナ禍によるマスク着用が日常になっていることで、従来の花粉症や一般的な風邪症状によるティッシュペーパー需要は減少傾向にあるという。

紙業界にとって、今年も厳しい状況が続きそうだ。

『紙』のひとり言

先月号では、「紙」にまつわる人名を紹介した。次は何にしようかとあれこれ考えてみたが、手っ取り早く「地名」を調べてみた。

全国津々浦々、紙にまつわる地名がいくつぐらいあるのか、皆さんご存じだろうか。実は、私自身がちょっと驚いた。北は北海道函館市から南は九州宮崎県まで、なんと20カ所以上もあるのだ。

「紙」という漢字が「漉」(こす・したたらせる・すぐ)や「檀」(だん・まゆみ)と共に使われていれば、その地名の由来は大方想像がつくが、ずばり「紙屋町」や「紙町」「紙

屋」という地名も全国に散見される。紙や紙すきが、日本の伝統文化と深く関わっていることがわかる。

中でもこの業界で一番有名な地名は、愛媛県四国中央市(元は伊予三島市)にある「三島紙屋町(みしまかみやちょう)」だろう。大王製紙の本社工場があることから、地場産業として大王製紙と四国中央市は切っても切れない関係にある。紙・紙加工業において日本屈指の生産量であり、紙製品の出荷額は6年連続日本一を誇る。

このように、紙にまつわる地名には、やはり紙となんらかの関係があるようだ。

今月の 使用紙 ミューマット

今月のTP通信は、北越コーポレーション(株)の「ミューマット」を使用しています。

優れた乾燥性、抜群の印刷作業性、ボリューム感のある手触り、冴えた白色感が特徴のA2マットコート紙です。

■規格

寸 法 g / m ²	46/T・Y	B/T	キク/T・Y	A/T・Y
連量 (kg)				
81.4	70	67.5	48.5	44.5
104.7	90	87	62.5	57.5
127.9	110	106	76.5	70.5
157	135	130.5	93.5	86.5

PICK
UP

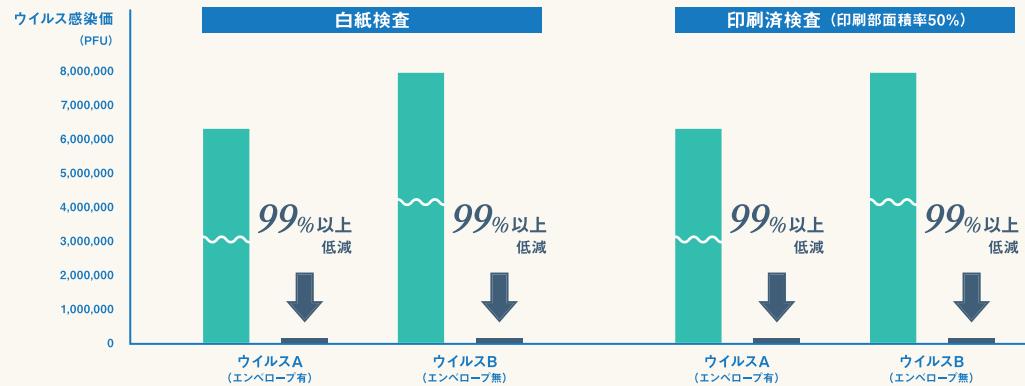
npi抗ウイルス紙

セルロースナノファイバー製造の中間体である変性セルロースに化学処理を施し、機能性金属イオンを担持させることにより、高い抗ウイルス性能、消臭・抗菌性能を持たせました。この抗ウイルス性能、消臭・抗菌性能を持った、変性セルロースを配合してつくられたのが「npi 抗ウイルス紙」です。当商品は通常の印刷・加工も可能であるため、さまざまな用途にお使いいただけます。(蛍光染料不使用)

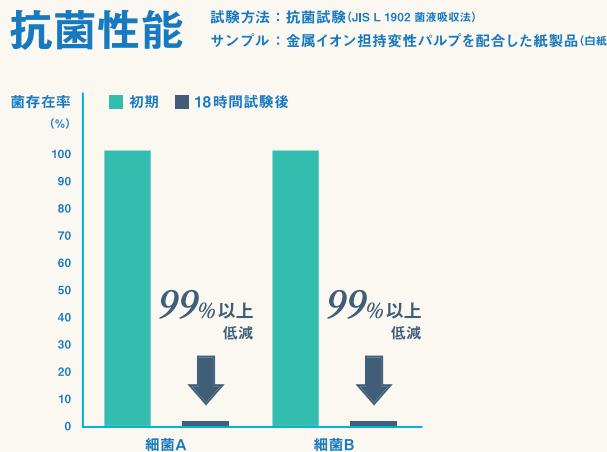
規格	四六判 (788×1091mm)	T目	69kg
	菊 判 (939×636mm)	Y目	47.5kg

■ 初期ウイルス感染値
■ 試験後ウイルス感染値(2時間後)

抗ウイルス性能

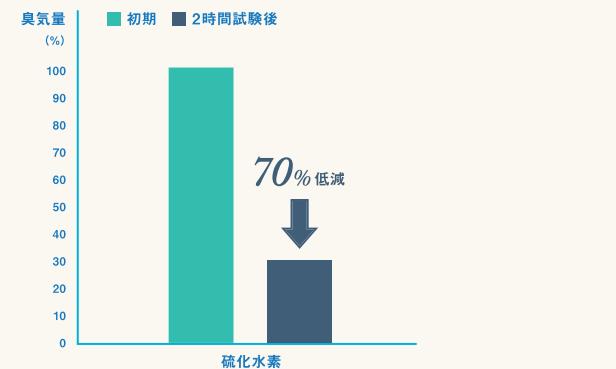


抗菌性能



試験方法：抗菌試験(JIS L 1902 菌液吸収法)
サンプル：金属イオン担持変性パルプを配合した紙製品(白紙)

消臭性能



※上記のデータは外部機関測定結果であり、保証値ではありません。

※当商品は医薬品・医療機器などの医療目的としたものではありません。また、すべての印刷・加工方法で抗ウイルス性能を保証するものではありません。

HEIWA PAPER www.heiwapaper.co.jp